

内視鏡センター

センター長 万波 智彦 (消化器内科)
副センター長 佐藤 賢 (呼吸器内科)

● 内視鏡センターの特色

- ・苦痛の少ない鼻から挿入する経鼻内視鏡検査や拡大して病変の詳細な観察が出来る拡大内視鏡検査をはじめ、現在国内で施行可能な内視鏡検査のほぼ全てが施行できる。
- ・上部消化管・下部消化管・胆膵内視鏡を中心に、消化器疾患全般を診療している。
- ・上下部内視鏡において、腫瘍の早期発見、範囲同定を拡大観察や特殊光を用いた狭帯光観察(NBI)で行っている。
- ・内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を用いた、消化管の早期癌に対する内視鏡的治療に力を入れている。
- ・ダブルバルーン小腸内視鏡、小腸カプセル内視鏡の両者を導入しており、多彩な小腸疾患にも対応可能である。
- ・呼吸器内科は呼吸器インターベンションセンターを設立し、クライオバイオプシー、EBUS-IFB を含めた高度な診断、治療(気道ステントを含む)を行っている。

● 内視鏡検査実績

1) 検査件数

上部内視鏡総数	下部内視鏡総数	ERCP 総数	カプセル内視鏡	ダブルバルーン小腸内視鏡	気管支鏡
2,704	1,550	315	(小腸)22(大腸)0	22	411

2) 詳細

a) 上部消化管内視鏡

種類	件数
ESD	69
EMR・ポリペクトミー	16
EUS	88
PEG	50
止血術	8
EVL	1
異物除去	3
FNA	33
経鼻	22

b) 下部消化管内視鏡

種類	件数
EMR・ポリペクトミー	282
ESD	36
EUS	4
FNA	1

c) ERCP

種類	件数
ERBD	2
EST	8
EUS・ドレナージ	2
胆道ステント留置	1

d) 気管支鏡検査

種類	件数
EBUS-TBNA/FNA	56
EBUS-GS	56
クライオバイオプシー	70
気管支充填術(EWS)	4
気管内腫瘍切除	39

種類	件数
気管支バルブ治療	3
TBB,BAL,その他	133
全身麻酔下治療	30
気道ステント留置	20

3) 研修、教育

地域合同 ESD カンファレンス 1 回/月
読影カンファレンス 1 回/週